忘れられた人々（1950）

LOS OLVIDADOS
THE YOUNG AND THE DAMNED

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 メキシコ
色彩 B&W
時間 81分
初公開日 1953/08/11
公開情報 パールハウス＝松竹洋画部

【解説】
娯楽の核は残したメキシコ時代のブニュエルの諸作品と較べれば、本編や「ナサリン」はより根源的で、彼の代表的欲求により従って作られたものと言えるだろう。冒頭の解説－－ＮＹ、ロンドン、パリの景観が映り、全世界で少年非行が社会問題に云々と入る－－など煽情めくが、後はひたすら冷徹にメキシコシティのスラムの現状が語られる。ペドロは兄貴分のハイボの影響を受けて共に盲目の大道芸人を襲うが、まだそれほどワルでもなく、母親に邪慳にされながら幼い弟妹の面倒を見る健気な少年だ。なのに、ハイボは自分が感化院に入れられたのは彼の密告のせいと思い込む。彼はペドロの親友フリアンを撲殺し、ペドロは口をつぐむと約束させられた。その夜、ペドロは夢をみる。親友の死体、白い鳩、やさしい母……。しかし、母からもらった肉を奪おうとするハイボにペドロはうなされて目覚める。彼は夢で母に誓った通り、真面目に働こうと鍛冶屋の見習いとなるが、そこへもハイボが現われ、ペドロに隠れてナイフを盗み、これが彼のせいとなって感化院送りに。無実のペドロは反抗的だが、進歩的と自負する院長は試みに彼を使いに出す。しかし、またハイボが、預かった金を奪って消えた。追うペドロは遂にハイボの秘密を仲間に明かすが……。救いのない結末に向かって一気呵成に映画は動く。まるで獣のように。疫病神ハイボを少年の母が誘惑する背徳のエロス。そして、悪夢の中、ハイスピードで飛ぶ鶏のシュールなイメージ。安易な解釈を拒絶するハダカの映画には、観る者も心を裸にして触れ合わなければ……。

【クレジット】

監督	ルイス・ブニュエル	Luis Bunuel
製作	オスカル・ダンシヘルス	Oscar Dancigers
脚本	ルイス・ブニュエル	Luis Bunuel
	ルイス・アルコリサ	Luis Alcoriza
撮影	ガブリエル・フィゲロア	Gabriel Figueroa
音楽	ロドルフォ・ハルフター	Rodolfo Halffter
出演	ロベルト・コボ	Roberto Cobo
	エステラ・インダ	Estela Inda
	アルフォンソ・メヒア	Alfonso Mejía

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.